



訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションとは、自分でできることを増やして生活範囲を広げたり、寝たきり状態を防ぐためにリハビリテーションが必要であると医師から判断され、病気などのために**通院が困難な方が受ける**ものです。

本人の症状や自宅の構造、家族の介護状況などを考慮しながら、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの**リハビリテーションの専門家が自宅を訪問し**、実際の生活の場で行うことのできる訓練法や介助の仕方や環境整備など、リハビリテーションの観点から**療養上必要な指導を行います**。



訪問してリハビリを行うことのメリット

「みんなと一緒に集まってするのは・・・」という方には◎！
住み慣れた自宅で安心して機能訓練が行えます。



自宅での実際の活動動作などを一緒に確認しながら、必要な機能訓練が行えます。



事業所までの移動にかかる、身体的・精神的な負担が軽減できます。



場所が変わることで精神的に不安定になる方なども安心して機能訓練が行えます。



訪問リハビリの概算料金

※表示料金は利用者が負担する料金（介護保険の1割）の例です。（所得金額等により、自己負担金が2～3割になる方がいます）

【要介護の方の利用負担額の目安】（1回につき）

	利用料金
要介護 1～5	308 円

【要支援の方の利用負担額の目安】（1回につき）

	利用料金
要支援 1・2	298 円

※ 追加料金(介護報酬加算)が必要な場合があります。提供の有無及び料金については各事業所にお問合せください。

151 医療法人医誠会 都志見病院

管理者 亀田 秀樹

【対応エリア】 萩市全域・阿武町全域

〒758-0041 萩市大字江向 413-1

TEL 0838-22-2811 FAX 0838-22-2815

ホームページ <http://tsushimi.jp/>



【営業時間】8:15～17:15

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
	8:15～8:45 17:00～17:30	Tel・FAX 同上 mail: homoreha@tsushimi.jp

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可：事前の日程調整



専任の理学療法士3名が、萩市・阿武町における訪問リハビリを実施いたします。医師の指示に基づきご自宅を訪問し、利用者の心身機能の維持回復および日常生活の自立に向けたリハビリテーションを行います。介護支援専門員等の関連職種と積極的に連携を図り、チームの一員として専門性を発揮しつつ、実際の生活場面で動作を練習し、介助法や環境整備など、リハビリテーションの観点から療養上必要な指導を行います。

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	○
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	○
7	気管切開をしている方	○
8	人工呼吸器装着の方	○
9	中心静脈栄養をしている方	○
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	○
15	認知症の方	○
16	精神疾患の方	○

受入可→○ 応相談→△ 受入不可→—

152 医療法人 河野医院

管理者 河野 通裕

〒759-3611 萩市大井 1723-1 【対応エリア】萩市全域・阿武町全域
TEL 0838-28-0321 FAX 0838-28-1234

ホームページ <https://www.kono-kizuna.jp/>



【営業時間】 8:30~18:00

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
	8:30~17:30	Tel・FAX 同上

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可：その都度調整し参加

注目!

運動器リハビリはもちろんのこと、内科領域の嚥下機能回復リハビリや呼吸器リハビリも積極的に実施し健康寿命の延伸を意識したリハビリテーションの実施をモットーとしています。

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	○
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	○
7	気管切開をしている方	○
8	人工呼吸器装着の方	○
9	中心静脈栄養をしている方	○
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	○
15	認知症の方	○
16	精神疾患の方	○

153 医療法人社団慈生会 介護老人保健施設 徳寿園

管理者 多田 穠治

〒758-0063 萩市大字山田 4147-1 TEL 0838-22-0118 FAX 0838-22-0132 【対応エリア】萩市・阿武町

ホームページ <http://hagi-jiseikai.or.jp/>



【営業時間】 9:00~17:30

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
	9:00~17:30	Tel 0838-22-0118

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可（要相談）

注目!

理学療法士がご自宅へ訪問し、日常生活動作の維持、改善のためリハビリテーションを行います。利用者が過ごしたい場所で自分らしく生活できるように、多職種と連携を図り支援させていただきます。

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	○
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	○
7	気管切開をしている方	○
8	人工呼吸器装着の方	○
9	中心静脈栄養をしている方	○
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	○
15	認知症の方	○
16	精神疾患の方	△

154 かわかみ整形リハビリテーションクリニック

管理者 川上 俊文

〒758-0011 萩市大字椿東 2863-7 TEL 0838-21-7566 FAX 0838-21-7138 【対応エリア】萩地域

ホームページ <https://kawakami-clinic.jimdo.com/>

応相談



【営業時間】 8:30~18:00

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
理学療法士	10:00~17:30	Tel・FAX 同上 mail: oms-riha@friend.ocn.ne.jp

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも応相談

注目!

理学療法士 2 名が萩市を中心に訪問リハビリを実施しています。運動器疾患を中心に患者の ADL を考えたりハビリを提供しています。

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	○
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	△
7	気管切開をしている方	△
8	人工呼吸器装着の方	△
9	中心静脈栄養をしている方	△
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	—
15	認知症の方	△
16	精神疾患の方	△

受入可→○ 応相談→△ 受入不可→—

155 萩市国民健康保険弥富診療センター

管理者 中山 隆安

〒759-3302 萩市大字弥富下 3995 【対応エリア】 須佐・田万川地域
 TEL 08387-8-2311 FAX 08388-8-2120 阿武町



【営業時間】 8:30~17:15

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
	8:30~17:15	Tel・FAX 同上

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

サービス担当者会議：可 退院前カンファレンス：応相談



生きがいを持った生活ができるよう支援していきます。作業療法士と一緒に相談しながらリハビリをしましょう。

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	△
2	ストーマの方	△
3	酸素療法をしている方	△
4	血液透析をしている方	△
5	腹膜透析をしている方	△
6	痰吸引の必要な方	△
7	気管切開をしている方	△
8	人工呼吸器装着の方	△
9	中心静脈栄養をしている方	△
10	留置カテーテルをしている方	△
11	インスリン注射の必要な方	△
12	終末期の方	△
13	神経難病の方	△
14	創傷処置が必要な方	△
15	認知症の方	△
16	精神疾患の方	△

受入可→○ 応相談→△ 受入不可→ー



多職種連携研修会アンケート結果②



令和3年11月17日開催 WEB セミナー

「医療・介護・行政関係者がおさえておくべき新型コロナウイルス感染症対策」

参加者：180名。

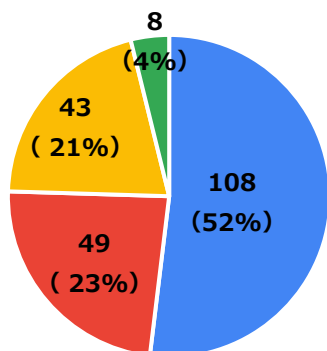
対象者限定 YouTube 動画（11月22日～12月5日）の視聴回数は255回。



「今回の研修では主にどのようなことが得られましたか」という設問には、119件のフリーコメントがあり、「感染防止策が改めて分かった」「換気が大切」「感染分野に携わって活動をしているため、これまでの知識の再確認と裏付けができた」「正しいコロナの知識や感染対策を知ることができた」「今後についての専門家の予測と最新の知見を知ることができた」「やるべきこと、やらなくてよいことが分かった」などの声が聞かれ、概ね研修の成果が上がったと思われました。

「今後の研修会で取り上げて欲しい内容、その他ご感想・お気付きの点・・・」という設問に対しては、フリーコメントで「感染対策」「コロナ感染の続編」「BCP（業務継続計画）」「救急訴訟問題」「LIFE（科学的介護情報システム）」「認知症への対応」「クレーマー対応」「医療介護現場でのDX（デジタルトランスフォーメーション）」などのテーマが上がり、感想等としては「質問に答えるかたちが良かった。現場で活躍されている先生の話はとても説得力があった」「大変分かりやすい説明で、不安に思っていることもズバリ発言で本当によかった。きれいな事も言わない先生で、状況をよく分かっているからこそ、自分の中で納得いく勉強会だった」などの声が聞かれました。

今後の開催方法（複数回答）



- オンライン研修
- ハイブリッド研修
- オンデマンド
- 集合研修

「今後の開催方法の要望（複数回答）」

という設問では、「オンライン研修」72.0%、ハイブリッド研修（オンライン研修と集合研修の同時開催）が32.7%、「オンデマンド（動画配信）」が28.7%、「集合研修」が5.3%という結果でした。



（講師：コネクト合同会社 CEO 山口征啓先生 参加者：180名 アンケート回収：150名）